

2026年度 高校生を対象とした「出張オープンキャンパス」の講座

理工学域 機械工学類

※各学類毎に、希望するテーマを第3希望まで選んでください。  
 ただし、希望の講座で実施できない場合があります。  
 申込みは希望日の2か月前までをお願いします。

No.	学類	講座名称	講座の概要	対面	オンライン
1	機械工学類	エネルギーの利用と地球の守り方	人類の持続的な活動のためには、地球環境の保全とエネルギーの効率的な利用が不可欠です。この講義では、金沢大学の最新研究を交えながら、創造的なエネルギー利用、省エネルギー技術、CO2の回収・利用などの技術開発に焦点を当て、それらがいかに社会の維持と発展に寄与するかを説明します。	○	○
2	機械工学類	未来を形にする最新のものづくり	自動車や家電など、私たちの身の回りの製品は、さまざまな材料と技術を組み合わせて作られています。この講義では、コンピュータを使った設計や加工、ロボットによる製造支援、そして3Dプリンタなどの技術進化によって発展している「ものづくり」に焦点を当てます。金沢大学の最新研究を交え、各技術の最新動向や未来のものづくりについて分かりやすく説明します。	○	○
3	機械工学類	夢のマシーンをつくる鍵は材料にあり	これまでに存在しない新しいロボット、ロケット、自動車などの機械を実現するためには、優れた材料の開発が不可欠です。原子や分子の並び方を考慮した設計により、軽くて強い材料や効率的に水素を蓄えられる材料、環境に優しい燃料電池などが可能になります。この講義では、金沢大学で進行中の研究を交え、材料開発の革新的な側面に焦点を当て、夢の機械を造るための鍵に迫ります。	○	○
4	機械工学類	数学と物理学が生み出す先端テクノロジー	「数学と物理学が生み出す先端テクノロジー」は、未来の革新的な技術を生み出す鍵を解き明かす冒険です。数学は複雑な計算やモデリングにおいて、先端テクノロジーの基盤を提供し、物理学は自然法則を理解し応用する力を与えます。この講義では、金沢大学の研究を通じて、数学と物理学がどのようにして新しい機械のテクノロジーを育んでいるのかを紐解きます。	○	○

担当 学務部入試課学生募集係 076-264-5162